



【大学入試センター試験を終えて】～ 最後の最後まで諦めないこと ～

1月18日(土)・19日(日)に、大学入試センター試験(以下、センター試験)が行われ、本校からは3年生81名(前年140名)が、筑波大学の第一、第二、第三、体育・芸術、の各試験場に分かれ受験しました。1日目は天候が心配され、小雪がちらつく中での会場入り、翌日は天候にも恵まれ暖かい日差しの中での受験となりました。

前日に行われた「出陣式」では、校長先生からの激励の後、担当の先生から「受験上の注意」冊子をもとに最終的な確認と注意があり、午後には試験会場の下見となりました。今回受験した3年生のなかには、推薦入試やAO・AC入試ですでに合格が内定している人もいますが、一般入試はセンター試験からが本格的な入試です。この日のために冬休みも課外授業や個別指導を受け「センタープレテスト」等で演習も重ねてきました。国公立大学一般入試は前期日程が2月25日(火)から、後期日程は3月12日(木)から行われます。「現役生は受験当日の朝まで実力が伸びる」と言われています。3年生の皆さんが自分を信じ、本校での学習を信じてそれぞれの第一志望校に合格することを願っています。

さて、1・2年生の皆さん、次は君たちの番です。新聞等に掲載された問題を解いてみましたか。まだ、解いていない皆さんは是非挑戦してみてください。センター試験は、ほとんどが2年生までの学習範囲から出題されています。難易度も記述模試ほど高くなく、問題文や計算量は多いものの、教科書程度の問題も出題されています。基礎基本がしっかりと理解できていて、素早く要旨を読み取ったり誘導に従って解き進めたりする練習を積んでいけば、比較的点数の取りやすいテストです。また、下表のように平均点は60%前後で、センター試験は高校生としての標準的な学力を測るために作成されています。推薦入試やAO・AC入試など、教科・科目の試験を行わない入試もありますが、進学後は一般入試での合格者と一緒に高校卒業時には身につけていると見込まれる学力を前提とした講義を受けることになります。大学進学を考えるなら、少なくともセンター試験に対応できる学力を身に付けておかねばなりません。進級を前にしたこの時期は「〇年ゼロ学期」と呼ばれています。大きな行事もなく、高校入試に伴う家庭学習の日もあって比較的余裕のある時期に、今の学年での積み残しを解消し、いち早く新学年に向けた準備や心構えをしておくことがより良いスタートに繋がります。まず、現在の学習状況を振り返り、毎日の授業に対しては「予習→授業→復習」の学習スタイルを維持し、1月に受験した「進研模試」からは弱点分野や強化すべき項目の洗い出しを行ってください。ライバルは全国の受験生です。1日でも早く受験生としての学習をスタートさせることで、第一志望校の合格を引き寄せることができます。

【入試を知る】～ センター試験平均点中間集計より ～

令和2年度大学入試センター試験 平均点中間集計(1月24日現在 大学入試センター発表)

科目名	国語	数学ⅠA	数学ⅡB	英語		世界史B	日本史B	地理B	政治経済
				筆記	リスニング				
満点	200	100	100	200	50	100	100	100	100
平均点	119.33	51.89	28.40	116.32	28.79	62.96	65.45	66.35	53.75
前年平均点	121.55	59.68	30.00	123.30	31.42	65.36	63.54	62.03	56.24
前年との差	-2.22	-7.79	-1.60	-6.98	-2.63	-2.4	+1.91	+4.32	-2.49

科目名	現代社会	倫理政経	物理	化学	生物	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎
満点	100	100	100	100	100	50	50	50	50
平均点	57.30	53.75	60.69	54.80	57.56	33.29	28.20	32.10	27.04
前年平均点	56.76	56.24	56.94	54.67	62.89	30.58	31.22	30.99	29.62
前年との差	+0.54	-2.49	+3.75	+0.13	-5.33	+2.71	-3.02	+1.11	-2.58

「大学入学共通テスト(以下、「共通テスト」)」が導入される前年ということで、出題傾向に変化も見られました。全体的にはこれまでのセンター試験の傾向を踏襲した出題でしたが、「国語」の漢文では本文中で詠まれた状況に即したイラストを選択させるといった新しい形式の設問がありました。また、「倫理 政治・経済」では人工知能(AI)やノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイなど時事問題が散見されたほか、「物理」では教科書には載っていない形状のコンデンサーに関する問題が出題されるなど、対話形式や日常の事象からの出題、複数の文章や図表などから考察させる問題など、「共通テスト」を意識した問題が各科目で出題されました。

今年のセンター試験は、英語、数学、国語の主要3教科で平均点がダウンした点が特徴です。とくに7.7点ダウンとなった「数学Ⅰ・数学A」は、複雑な設定で解答方針が立てにくい問題や参考書等であまりみかけない問題が出題され、苦戦した受験生が多かったようです。理科①、理科②、「地歴・公民」では、平均点に大きな差はなかったようです。

【令和3年度大学入学選抜実施要項の見直し】～入試が変わり多面的・総合的な評価となります～

＊「令和3年度大学入学選抜に係る大学入学共通テストの出題方法等の変更」について

1月29日(水)に大学入試センターより「令和3年度大学入学選抜に係る大学入学共通テストの出題方法等の変更」が発表されました。
(<https://www.dnc.ac.jp/news/20200129-01.html>)

教科	科目	センター試験			共通テスト		
		時間	大問構成	配点	時間	大問構成	配点
国語	国語	80分	大問4題	200点	80分	大問4題	200点
数学	数学ⅠA	60分	必答2題 ＋ 選択2題	100点	70分	必答2題 ＋ 選択2題 日常生活や社会の事象を扱った問題含む	100点
英語	リーディング	80分	第1問 発音アクセント 第2問 文法、語句整序 ＋ 第3問～ 文章読解	200点	80分	第1問～ 文章読解	100点
	リスニング	30分	大問4題 音声2回読み	50点	30分	大問6題 1回読みも出題	100点

記述式の問題が取りやめとなり、問題の構成や試験時間の変更がありました。特に英語は、「リーディング」と「リスニング」が均等に配点されるようになり、その比重は各大学の判断に任せることになっています。また、大学入試英語成績提供システムの導入が延期になりましたが、「リーディング」と「リスニング」の2技能に特化した問題構成となり、これまで出題されていた発音・アクセント・語句整序などは出題されないことになっています。

＊文部科学省「高大接続改革の実施方針等の策定について」(2017年7月)より

名称変更	「一般入試」→「一般選抜」	「AO入試」→「総合型選抜」	「推薦入試」→「学校推薦型選抜」
改善①	(他の選抜方法でも推奨) ・出題科目が1, 2科目に限定されている。→出題科目の見直し ・国語を中心とした記述式の導入など作問の改善 ・英語4技能評価の導入	・「学力不問」につながる記載の削除 ・志願者本人の記載する資料の活用	・「学力不問」につながる記載の削除 ・推薦書の中で学力の3要素の評価を必須化
改善②	主体性の評価→志願者本人の記載する資料や調査書の活用	知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価が不十分→調査書等の出願書類だけでなく小論文や口頭試問など各大学が実施する評価方法が、大学入学共通テストのいずれか一つは活用必須化。	
実施面	試験期間 2月1日～3月25日 合格発表 3月31日まで	出願 9月以降 合格発表 11月以降 ＊入学前教育の充実	出願 11月以降 合格発表 12月以降 ＊入学前教育の充実

「一般選抜」の主体性評価が取りざたされていますが、「総合選抜」や「学校推薦選抜」については「学力不問」というわけにはいかなくなります。